

平成23年度事業報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

【1】概 況

本年度は、公益法人制度改革における公益社団法人への移行に向け、当協会の設置目的・事業ならびに組織等について再整備を図るとともに、千葉市が有する自然・歴史・文化等の豊富な地域資源を活用した交流人口の拡大に向け、「新しい観光資源の発掘」「戦略的な情報発信による観光需要の喚起」「人材育成」の事業の一層の推進を図った。

観光プロモーション事業については、千葉市の都市イメージの源泉となる豊かな自然環境や都市空間における地域資源を活用した観光ルートづくりを行い、7月に花見川エリアと10月に加曽利貝塚エリアの「駅からハイキング」を開催し、県内外から2,102名の参加があった。そして、千葉市で初めての着地型旅行商品となる日帰り観光バスツアー「秋を彩る10万本のコスモスと市場食堂の海鮮丼を満喫」を開催したところ125名の参加があり、参加者から大変満足できたので次回ツアーが楽しみとの意見を数多く頂いた。さらに、インバウンド事業として、中国からの旅行客を千葉市へ誘致するため、当協会では体験を通じた歴史・文化との出会いをはじめ市内小中学生との交流と企業訪問のプロデュースを行い、修学旅行生87名を受入れることができた。

また、千葉市の魅力を県外にPRするため、日本橋架橋百年祭「諸国往来市」ならびに赤坂サカスの秋の千葉県観光キャンペーンに出展し、千葉市の紅葉スポットや観光農園をはじめ特産品の宣伝などシティセールスキャンペーンを行った。

そして、創刊14号の「千葉とっておき2012」は、政令指定都市移行20周年を迎える千葉市のお薦め観光スポット360件をはじめ、市内の魅力を再発見する巻頭特集を掲載したガイドブックと新たにガイドマップを各7万部発行し、観光情報センターならびに市内集客拠点で配布を行った。

さらに、地域観光の担い手となる観光ボランティア「ちばシティガイド」の人材育成を行い65名をガイド認定するとともに、ちばシティガイドが案内する「まち歩き観光ガイドツアー」をスタートした。

管理業務については、公益社団法人への移行申請に向け、12月1日の臨時総会で承認された定款の全部改正及び諸規程の制定をはじめ、当協会の組織、公益目的事業、財務に関して整備を行い千葉県に公益認定の移行申請をした結果、3月21日に公益社団法人の認定を受け、平成24年4月1日に移行登記を行った。

【2】会 議 等

1. 総 会

(1)第28回通常総会

日 時 平成23年5月30日(月) 15時10分～16時20分
場 所 千葉中央ツインビル2号館5階セミナー室
会員数 734名 出席会員 427名(内委任状 321名)
議 題 第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
第2号議案 平成22年度収支決算報告承認の件
第3号議案 平成23年度事業計画(案)承認の件
第4号議案 平成23年度収支予算(案)承認の件
第5号議案 公益社団法人への移行について
第6号議案 理事の一部改選について

(2)臨時総会

日 時 平成23年12月1日(木) 15時00分～16時00分
場 所 千葉中央ツインビル2号館14階 千葉商工会議所第1ホール
会員数 725名 出席会員 439名(内委任状 375名)
議 題 第1号議案 定款の変更について
第2号議案 公益社団法人移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の
選定について
第3号議案 会員規程について
第4号議案 役員の報酬等並びに費用に関する規程について

2. 理事会等

(1)第1回理事会

平成23年5月25日(水) 15時30分～16時30分
千葉中央ツインビル2号館9階 味工房

①議事録署名人の選出

②議 題 第1号議案 平成22年度事業報告及び決算について
第2号議案 理事、専門委員の一部改選について
第3号議案 新入会員、退会会員の承認について

(2)第2回理事会

平成23年11月22日(火) 11時00分～12時00分
千葉中央ツインビル2号館9階 第2・3会議室

①議事録署名人の選出

- ②議 題 第1号議案 定款の変更案について
 第2号議案 公益社団法人移行後の最初の代表理事及び業務執行理事の
 選定案について
 第3号議案 会員規程案について
 第4号議案 役員の報酬等並びに費用に関する規程案について
 第5号議案 平成23年度補正予算案について
 第6号議案 専門委員の一部改選案について
 第7号議案 新入会員、退会会員の承認について

(3)第3回理事会

平成24年3月28日(水) 15時00分～16時00分
 千葉中央ツインビル2号館14階 千葉商工会議所第2ホール

①議事録署名人の選出

- ②議 題 第1号議案 平成23年度補正予算案について
 第2号議案 平成24年度事業計画案及び予算案について
 第3号議案 公益社団法人移行に伴う関係規程の一部改正について
 第4号議案 公益社団法人千葉市観光協会組織規程案について
 第5号議案 公益社団法人千葉市観光協会財務規程案について
 第6号議案 公益社団法人千葉市観光協会文書取扱規程案について
 第7号議案 給与規程の一部改定について
 第8号議案 理事及び監事の選任方法について
 第9号議案 専門委員の一部改選案について
 第10号議案 新入会員、退会会員の承認について

(4)その他の会議

三役会議	5月25日	11月22日	12月 1日	3月28日
総務委員会	5月19日	11月18日	3月36日	
企画委員会	8月30日			
観光推進委員会	7月26日	11月17日		
市長との意見交換会	2月 1日			
事務局会議	4月 7日	5月12日	6月 7日	7月11日
	8月10日	9月 7日	10月11日	11月 8日
	12月 7日	1月11日	2月 8日	3月 7日
関東運輸局業務検査	10月13日			
会計監査	5月16日			

3. 関係会議

千葉市外郭団体事務局長会議	4月 7日	3月 8日		
千葉市外郭団体常勤役員会議	3月12日			
千葉市を美しくする会	4月12日	5月19日	6月 8日	
	8月 3日	10月 5日	3月 7日	
まちづくりちば市民の会	4月20日	5月21日	6月15日	
	10月12日	11月12日	1月18日	
	3月21日			
千葉市民花火大会実行委員会	4月26日	5月11日	6月 3日	
	7月21日	12月16日	2月27日	
	3月19日			
日本観光振興協会	5月11日	6月 1日	6月 9日	
千葉県観光物産協会	5月24日	3月27日		
千葉市園芸協会総会	5月24日			
ちばプロモーション協議会	5月31日	6月 7日	8月22日	
	9月30日	1月12日	2月10日	
千葉ベイエリア観光連盟	6月 2日	11月10日		
稲毛浅間神社祭礼関係会議	6月 9日			
千葉地区夏期観光安全対策本部会議	6月13日			
千葉市推奨土産品会総会	6月21日			
千葉港まつり実行委員会	6月27日			
ベイサイドジャズ千葉実行委員会	6月28日			
千葉神社祭礼関係会議	7月 1日			
ちば産業観光連絡協議会	7月14日			
中心市街地まちづくり協議会	7月25日	10月19日		
千葉商工会議所観光サービス部会	7月28日			
ちば歴史フォーラム実行委員会	8月27日			
千葉都心イルミネーション実行委員会	9月 1日	9月14日	10月 7日	
	10月28日	11月18日	2月27日	
大都市観光協会連絡協議会	10月 7日	11月24日～25日		
ツインビル共同防火管理協議会	11月11日			
千葉城さくら祭り実行委員会	2月 3日	2月28日		
千葉市中心市街地活性化協議会	3月27日			

【3】事業項目及び実施事業

〔1〕観光プロモーション事業

1. 観光意識の普及向上

(1)講演会の開催

5月30日（月）千葉市文化センター5階セミナー室で開催した総会時に、QVCジャパン代表取締役社長の佐々木迅氏を講師に迎え、「夢を育むQVCマリンフィールド」をテーマに、幕張新都心の本社から24時間・365日、商品情報を生放送で届けている会社の取り組みをはじめ、今シーズンからネーミングライツを取得した「QVCマリンフィールド」への思いと、2012年秋に幕張新都心に誕生する広いスタジオを備えた新社屋の構想について講演をいただいた。

(2)観光関係功労者の表彰

5月30日の総会時に、当協会の運営と千葉市の観光振興に寄与された役員1名に感謝状と会員8名に会員表彰、職員及び元職員に勤続表彰と功労者表彰を贈呈した。
11月15日の第1回千葉県観光物産大会にて、ホテルスプリングス幕張の山形商事(株)が県観光功労者表彰を授賞した。

2. 観光情報の収集・提供

(1)観光情報web提供の運営

千葉市の観光ポータルサイトとして運営するホームページ「千葉市観光ガイド」のトップページのデザインをリニューアルし、新着情報ならびに季節のお出かけ特集のコーナーを開設し最新情報を提供した結果、年間308,262件のアクセスがあった。

(2)千葉とっておき2012の発行

2012年の政令指定都市移行20周年を記念して、ガイドブックには「千葉市の魅力再発見の旅」「千葉のみどころ まち歩き観光ガイドツアー」「四季を通じて楽しめる花スポット」「観光農園・直売所と千葉の素材を使用した逸品」の特集記事と市内のお薦め観光スポット360件を掲載。さらにガイドブックと連携したガイドマップを新たに製作し12月21日に各7万部発行。千葉駅と海浜幕張駅の観光情報センター、市内集客拠点で配布した。

3. 観光宣伝及び観光客の誘致

〔1〕観光宣伝活動

(1)魅力的な観光ルートの設定・活用

①2011夏「駅からハイキング」

「新検見川駅開業60周年記念！大賀ハス発掘の地から海浜幕張を訪ねるウォーキング」

7月16日（土） 新検見川駅～海浜幕張駅

開業60周年を迎える新検見川駅から検見川神社、大賀ハスの発掘の地、東大緑地植物実験地、しらさぎ公園、真蔵院、秋葉神社、昆陽神社を巡る海浜幕張駅までのコースの主要ポイントで「ちばシティガイド」が千葉の歴史・文化などを紹介。

首都圏及び関東近県の各地から1,155人の参加があった。

②2011秋「駅からハイキング」

「日本最大級の縄文遺跡 加曽利貝塚ハイキング」

10月2日(日) 千葉モノレール千城台駅～都賀駅

世界一の営業距離を走る懸垂型千葉モノレールに乗って千城台駅から野鳥観察園、農産物直売所しよいか〜ご、稲荷神社、真浄寺、加曽利貝塚公園内を巡る都賀駅までのコースで、主要ポイントの魅力を観光及び施設ボランティアガイドが紹介。県内及び首都圏から947名の参加があった。

(2)着地型旅行商品づくり

日帰り観光バスツアー「秋を彩る10万本のコスモスと市場食堂の海鮮丼を満喫」

10月8日(土)、12日(水)、13日(木)

京成バスシステムとの共同企画により千葉市で初めての着地型旅行商品となる日帰り観光バスツアーを開催。千葉市中央卸売市場で千葉産品の買い物と昼食をはじめ花の美術館、郷土博物館を巡り富田町コスモス祭りの散策と枝豆の収穫体験を旅行企画したところ、都内をはじめ東葛エリアから延べ125名の参加があった。参加者アンケートの結果は、商品・おもてなし・価格ともに満足度の高い評価であった。

(3)千葉シティセールスキャンペーン

①「がんばろう！千葉」観光キャンペーン

6月11日(土)～12日(日) 幕張メッセ 9ホール

千葉県主催の「千葉から日本を元気に」がんばろう！千葉観光キャンペーンのベイ・東葛エリアブースにて、夏の行楽情報の提供と観光パンフレットの配布を行った。

②秋の観光キャンペーンPRイベント

9月17日(土) 赤坂サカス

TBSラジオ開局60周年「感謝 de サカス」の千葉県ブースにて、千葉市の秋の見所や日帰り観光バスツアーのPRを行った。

③日本橋架橋百年祭「第6回諸国往来市」ちばシティセールスキャンペーン

10月30日(日) 日本橋・京橋まつり会場

10万人の人出となった日本橋架橋百年祭の全国お国自慢の名産品が集う諸国往来市の会場で、千葉市の特産品と秋の見所のPRを行った。

(4)第32回千葉県フラワーフェスティバル観光キャンペーン

1月6日(金)～9日(月) 三越千葉店

県内生産者が出展する洋ラン・鉢花の展示会場に、千葉市内の花の見所や会員施設を紹介する観光PRコーナーを設置し、観光パンフレットの配布を行った。

〔2〕観光客誘致活動

(1)第10回千葉城さくら祭り

4月3日（日） 亥鼻公園他

千葉商工会議所、千葉市中央地区商店街協議会、当協会にて実行委員会を組織し、さくら祭りの準備を進めていたが、東日本大震災の影響により配電工事の中止や電力供給の不足が見込まれ来場者の安全確保が困難になったことから、千葉都市モノレールとの連携による「桜めぐりウォーキング」のみ開催したところ、201人の参加があった。

(2)第34回千葉市民花火大会

千葉市、千葉商工会議所、当協会にて実行委員会を組織し、花火大会の準備を進めていたが、東日本大震災の影響により近隣の花火大会が中止となり、観覧者の大幅な増加による警備体制の強化や自由観覧席の確保が必要となるなか、会場周辺の環境変化に伴ない十分な安全確保が図れないと判断したため中止を決定した。

(3)千葉の親子三代夏祭り

8月21日（日） 中央公園周辺

安田会長がまつり部会長として、太田専務は実行委員として参加した。第36回を迎える今回は、東日本大震災の影響により開催時間を短縮して実施したが、本祭りには30万人の人出があった。

(4)千葉港まつり

8月16日（火）～22日（月）

港まつり実行委員会に参加するとともに、千葉神社のみこし渡御の音頭行進の支援を行った。

(5)千葉都心イルミネーション

12月2日（金）～1月10日（火）

千葉市中心市街地まちづくり協議会、中央地区商店街、千葉商工会議所、千葉市、当協会にて実行委員会を組織し、東日本大震災からの復興に向け、1日も早く元気な千葉に生まれ変わるよう、中央公園の樹木やオブジェを22万球のイルミネーションで飾り、中心市街地で各種サービスが受けられるパスポートを3万部発行し、千葉都心から「がんばろう！千葉」のメッセージを発信した。

(6)その他（後援、協賛事業）

春まつり、写真千葉県展、エコメッセ in ちば、きぼーるフラスクエア、商業祭、千葉MICEサロン、寒川の御浜下りフォトコンテスト、千葉県俳句大会、チャリティ安心朝市、千葉県菊花大会、サウンド in ちば、Club YEG DanSpark、千葉市科学フェスタ、楽市バザール&のみの市、ベイサイドジャズ、ちば羽衣秋まつり、動物公園の四季写真コンテスト、千葉市菊花展、市民春の俳句大会他

4. 受入体制の整備・強化

(1)観光ボランティア「ちばシティガイド」の育成と活用

千葉市で活動する観光ボランティアガイドを育成するため、千葉市内の自然、歴史、生活・文化を学ぶ基礎講座と地域資源の発掘から案内マップと説明テキストを作成するワークショップを行い、全課程を修了した平成21年度参加の1期生(24名)、平成22年度参加の2期生(17名)、今年度から参加の3期生(24名)に、ちばシティガイド登録証を交付した。さらに、5月から「まち歩き観光ガイドツアー」をスタートし、延べ21件261名を案内するとともに、3月17日(日)に若葉区役所と連携して若葉区の魅力再発見ウォーキングを実施した。

(2)観光サービス研修会の開催

11月23日(水) 千葉商工会議所第2ホール

日本観光振興協会との共催によりJALアカデミーの伊東絹子氏を迎え「観光客をファンにするおもてなしの心」をテーマに、一期一会のおもてなしの心に基づいた高品質の接客スキルを身につけるための研修会を行い、40名の参加があった。

5. 観光地の美化清掃

(1)観光地美化キャンペーン

11月26日(土)に、日本観光振興協会関東支部、千葉県観光物産協会との共催により、会員ならびに地元自治会や市民ボランティアの参加者277名と、千葉を代表する海浜リゾート「いなげの浜・検見川の浜」の清掃活動を行い、地域の美化意識の高揚と観光地の環境保全を図った。

(2)9月10日(土)の中心市街地まちづくり協議会と中央地区みはる会の共催による中央地区クリーンアップ作業に参加しゴミの収集作業を行った。

(3)千葉駅前オフィス町内会に参加し、毎月第1水曜に中央公園周辺の清掃を実施した。

6. 観光関係団体との連絡協調

(1)千葉市外郭団体等連絡協議会の役員会に太田専務理事、事務局長会に木村事務局長が出席し、外郭団体の経営改善に関する情報交換を行った。

(2)大都市観光協会連絡協議会の総会ならびに事務主管者会議に出席し、公益法人制度改革における各都市の対応などについて意見交換を行った。

10月7日 11月24日～25日(川崎市)

(3)千葉ベイエリア観光連盟の事務局として、会議及び事業活動の連絡調整を行った。

(総会) 6月2日 (理事会) 11月10日

(観光プロモーションツアー) 2月2日(市川市) 2月22日(浦安市)

(千葉ベイエリア観光パンフレット発行: 65,000部) 11月4日

7. 観光情報センターの運営（ＪＲ千葉駅・ＪＲ海浜幕張駅）

- (1)観光情報センターにおける来訪者への案内は、東日本大震災の影響により夏休み前まで減少傾向にあったが、８月以降は前年並みの案内件数となった。
- (2)ＪＲ海浜幕張駅の千葉市幕張観光情報センターは、東日本大震災による幕張新都心エリアの液状化現象等の被害発生により、幕張メッセならびにＱＶＣマリンフィールドの行事が延期されるなどの影響があり、４月２８日まで千葉駅観光情報センターへの電話転送等により案内業務を行っていたが、ＧＷ前の４月２９日より窓口の案内業務を再開した。
- (3)中国をはじめ諸外国からの来訪者の受入対応の向上を図るため、１２月より音声通訳機の試験モニターを行った。
- (4)観光情報センターの利用状況

案 内 項 目		千葉市観光情報センター 〈ＪＲ千葉駅〉	千葉市幕張観光情報センター 〈ＪＲ海浜幕張駅〉
	公 共 施 設 案 内	7, 171件	5, 347件
	レ ジ ャ ー 案 内 (ホテル・旅館・観光施設)	9, 619件	3, 696件
	イ ベ ン ト 案 内	2, 701件	2, 800件
	ビジネス・生活案内 (民間施設・ショッピング・飲食)	10, 534件	14, 157件
	交 通 機 関 案 内	8, 624件	7, 134件
	市 内 案 内 計	38, 649件	33, 134件
市 外 案 内 計		3, 266件	4, 429件
総 計 (内 外 国 人 案 内)		41, 915件 (1, 977件)	37, 563件 (3, 472件)

〔２〕観光施設等利用者への利便の提供

(1)「フードコートちば」（ＱＶＣマリンフィールド）の運営

２０１１シーズンは、東日本大震災の影響によりプロ野球の開幕が遅れ営業期間が例年とは異なる状況となったが、千葉の農産物を使った手作り商品の提供をはじめ当店の人気商品もつ煮込み、ご当地焼きそばなどは来店者に好評であった。また、２０１２シーズンに向け、厨房及び販売コーナーの改装を行った。

(2)「ちば家庭料理 味工房」(ツインビル)の運営

市内で生産された農産物を中心に地元食材を活用したランチメニューなど地産地消を推奨する店舗としてリピーターも増えていたが、店舗の使用許可が6月末で終了し更新が出来ない状況となったことから、6月30日をもって営業を終了した。

〔3〕管理業務

(1)会員加入活動

平成23年度は当初734会員で始まり、年間を通して会員及び役員の紹介ならびに観光事業を通じた会員加入活動を行い、40会員の入会をいただいたが廃業等により49会員の退会があり、平成23年度末の会員数は725会員となった。

(2)公益社団法人への移行に向けた取り組み

公益法人制度改革関連法（法人法、認定法、整備法）に基づき、公益認定の申請手続に要する定款ならびに関係規程と組織・公益目的事業・財務について整備を行い、12月1日の臨時総会の承認後、1月6日に千葉県へ移行認定申請し、3月21日に公益社団法人の認定を受け、4月1日に移行登記を行った。

(3)経営改善に向けた組織運営と財務基盤の見直し

今年度から組織体制と財務状況が大きく変化するなか、社会情勢等に即応した経営を行うため、給与規程等の見直しを行い公益目的事業の推進を図った。